

# 2010年12月期 決算説明会

2011年2月25日



内外トランスライン株式会社

## ◆内外トランスラインは

# NVOCC

外航海運利用運送業

Non-Vessel Operating Common Carrier

わたしたちは、お客さまに**最適・  
最速の輸送サービス**を提供する**国際  
海上輸送のプロ**です。

NVOCCとは

船舶を所有せず、船会社のスペース（船腹）を借りて利用し、お客さまの貨物を海上輸送する事業者を指します。

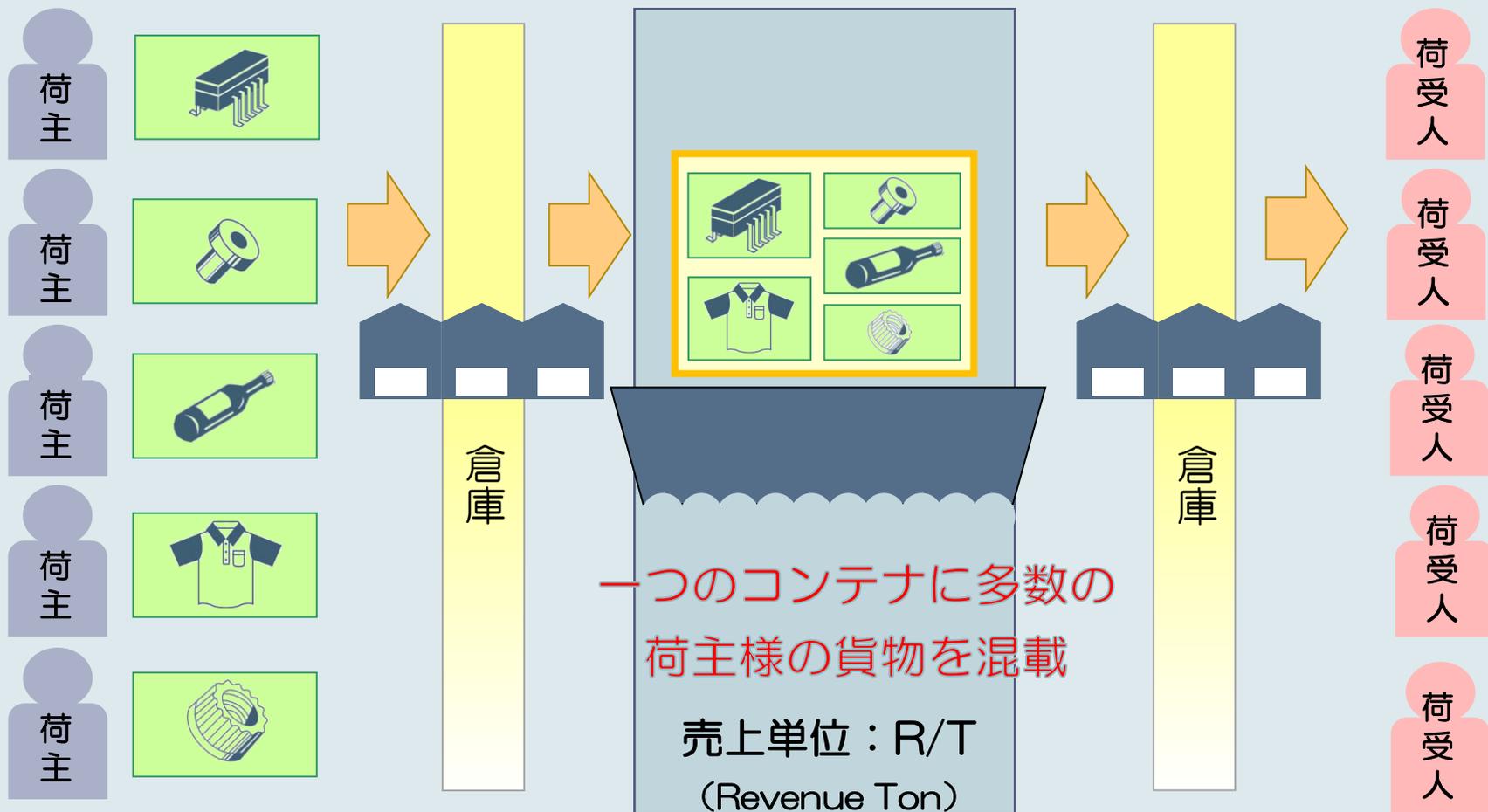
# ◆当社事業フロー(輸出)

出荷 陸上輸送 ▶ コンテナ積 ▶ 船積 ▶ 海上輸送 ▶ 陸揚 ▶ コンテナ降し ▶ 陸上輸送 ▶ 納品



\*混載輸送 (LCL) またはフルコンテナ輸送 (FCL)

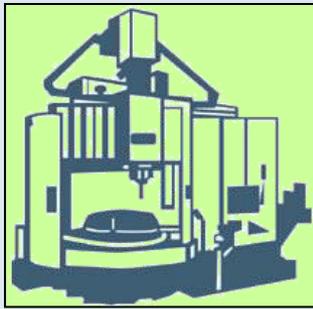
# ① 混載輸送 (LCL = Less than Container Load)



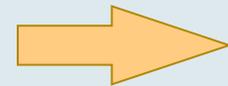
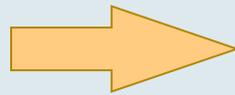
## ② フルコンテナ輸送 (FCL=Full Container Load)



荷主



単一荷主様貨物  
(機械・部品等)



荷受人

第一部 2010年12月期  
決算概要

## 1-1 2010年12月期決算総括

- ① 目標とした2008年売上高には及ばなかったが、世界経済の急回復が追風となり2009年比では大幅な増収、増益となった。
- ② 当期純利益において、連結、単体とも2008年、2009年を上回り**最高益**を更新した。
- ③ 成長戦略
  - (1) 首都圏の強化  
首都圏比率は45.6%となった。
  - (2) 輸入の拡大  
金額ベースで09年比124.8%、08年比110.9%と拡大した。
  - (3) グローバルネットワーク  
**Cargo One社**買収( '10.7)で米国内及び大西洋航路、  
**LPI 社**買収( '11.1)で南西アジアへの展開の基盤固めができた。

## 1-2 連結 売上及び利益

単位：百万円

	2008 実績	2009 実績	2010 実績	対08比 (%)	対09比 (%)
売上高	<b>11,910</b>	<b>8,735</b>	<b>11,443</b>	<b>96.1</b>	<b>131.0</b>
売上総利益	<b>3,966</b>	<b>3,211</b>	<b>3,709</b>	<b>93.5</b>	<b>115.5</b>
営業利益	<b>1,101</b>	<b>635</b>	<b>1,031</b>	<b>93.6</b>	<b>162.2</b>
経常利益	<b>1,098</b>	<b>808</b>	<b>1,036</b>	<b>94.4</b>	<b>128.2</b>
当期純利益	<b>624</b>	<b>396</b>	<b>652</b>	<b>104.5</b>	<b>164.7</b>

## 1-3 連結 利益増加要因

対前年 単位：百万円	2009	2010	差異	主な差異要因	金額
売上高	<b>8,735</b>	<b>11,443</b>	<b>2,708</b>	【単 体】 29.5%増 【グループ】 27.7%増 内部取引	<b>2,083</b> <b>658</b> △ <b>33</b>
売上原価	<b>5,523</b>	<b>7,733</b>	<b>2,210</b>	【単 体】 37.4%増 【グループ】 31.9%増 内部取引	<b>1,755</b> <b>487</b> △ <b>33</b>
売上総利益	<b>3,211</b>	<b>3,709</b>	<b>498</b>	仕入コスト上昇により圧迫	
販管費	<b>2,575</b>	<b>2,678</b>	<b>102</b>	人件費の増加 経 費の増加 減価償却費 18・旅費 14	<b>45</b> <b>57</b>
営業利益	<b>635</b>	<b>1,031</b>	<b>395</b>		
経常利益	<b>808</b>	<b>1,036</b>	<b>227</b>	保険解約返戻金の減少 支払手数料の増加	△ <b>120</b> △ <b>23</b>
当期純利益	<b>396</b>	<b>652</b>	<b>256</b>	売却損・評価損等の減少 法人税等の増加	<b>95</b> △ <b>66</b>

# 1-4-1 連結 貸借対照表（借方）

資産の部

単位：百万円

	2009	2010	差異	主な差異要因	金額
流動資産	<b>3,672</b>	<b>4,585</b>	<b>913</b>	現預金の増加 売掛金の増加 有価証券の増加	<b>702</b> <b>119</b> <b>96</b>
有形固定資産	<b>447</b>	<b>428</b>	$\Delta$ <b>19</b>	工具器具備品の減少	$\Delta$ <b>20</b>
無形固定資産	<b>104</b>	<b>218</b>	<b>113</b>	のれんの増加 ソフトウェアの減少	<b>132</b> $\Delta$ <b>14</b>
投資その他	<b>996</b>	<b>701</b>	$\Delta$ <b>295</b>	投資有価証券の減少 繰延税金資産の減少	$\Delta$ <b>281</b> $\Delta$ <b>14</b>
資産合計	<b>5,220</b>	<b>5,933</b>	<b>713</b>		

## 1-4-2 連結 貸借対照表（貸方）

負債・純資産の部

単位：百万円

	2009	2010	差異	主な差異要因	金額
流動負債	<b>865</b>	<b>1,056</b>	<b>191</b>	買掛金の増加 未払法人税等の増加	<b>100</b> <b>139</b>
固定負債	<b>148</b>	<b>153</b>	<b>4</b>	退職給付引当金の増加	<b>2</b>
負債合計	<b>1,014</b>	<b>1,210</b>	<b>196</b>		
株主資本計	<b>4,317</b>	<b>4,940</b>	<b>623</b>	資本金の増加 資本剰余金の増加 利益剰余金の増加	<b>58</b> <b>58</b> <b>505</b>
その他	<b>△110</b>	<b>△216</b>	<b>△106</b>	為替換算調整勘定の減少	<b>△105</b>
純資産合計	<b>4,206</b>	<b>4,723</b>	<b>516</b>		
負債・純資産	<b>5,220</b>	<b>5,933</b>	<b>713</b>		

## 1-5 連結 キャッシュフロー

単位：百万円

	2009	2010	差異	主な差異要因	金額
営業活動による キャッシュ・フロー	<b>524</b>	<b>820</b>	<b>296</b>	税前当期純利益増加 仕入債務の増加 売上債権の増加 投資有価証券評価損減	<b>321</b> <b>114</b> $\Delta$ <b>91</b> $\Delta$ <b>51</b>
投資活動による キャッシュ・フロー	<b>171</b>	<b>26</b>	$\Delta$ <b>144</b>	有価証券の取得減 有価証券償還収入減 投資有価証券の取得減 投資有価証券売却減 子会社株式取得増	<b>394</b> $\Delta$ <b>800</b> <b>495</b> $\Delta$ <b>76</b> $\Delta$ <b>138</b>
財務活動による キャッシュ・フロー	$\Delta$ <b>99</b>	$\Delta$ <b>36</b>	<b>63</b>	株式発行収入増 配当金の支払い増	<b>109</b> $\Delta$ <b>47</b>
現金及び現金同等物 の残高	<b>2,862</b>	<b>3,564</b>	<b>702</b>		

## (参考1) 計画差異

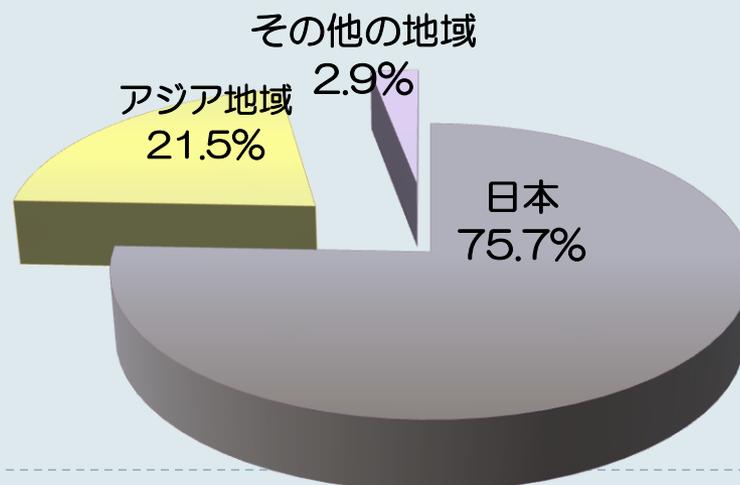
単位：百万円	連 結		
	計画	実績	達成率(%)
売上高	<b>11,400</b>	<b>11,443</b>	<b>100.4</b>
売上原価	<b>7,658</b>	<b>7,733</b>	<b>101.0</b>
売上総利益	<b>3,742</b>	<b>3,709</b>	<b>99.1</b>
販管費	<b>2,717</b>	<b>2,678</b>	<b>98.6</b>
営業利益	<b>1,025</b>	<b>1,031</b>	<b>100.6</b>
経常利益	<b>1,038</b>	<b>1,036</b>	<b>99.8</b>
当期純利益	<b>624</b>	<b>652</b>	<b>104.5</b>

## (参考2) 所在地別売上高

連結

単位：百万円	2009年	2010年	
日本	<b>7,065</b>	<b>9,162</b>	<b>129.7%</b>
アジア地域	<b>2,154</b>	<b>2,600</b>	<b>120.7%</b>
その他の地域	<b>145</b>	<b>348</b>	<b>240.0%</b>
売上合計	<b>9,364</b>	<b>12,111</b>	<b>129.3%</b>

内部取引相殺前

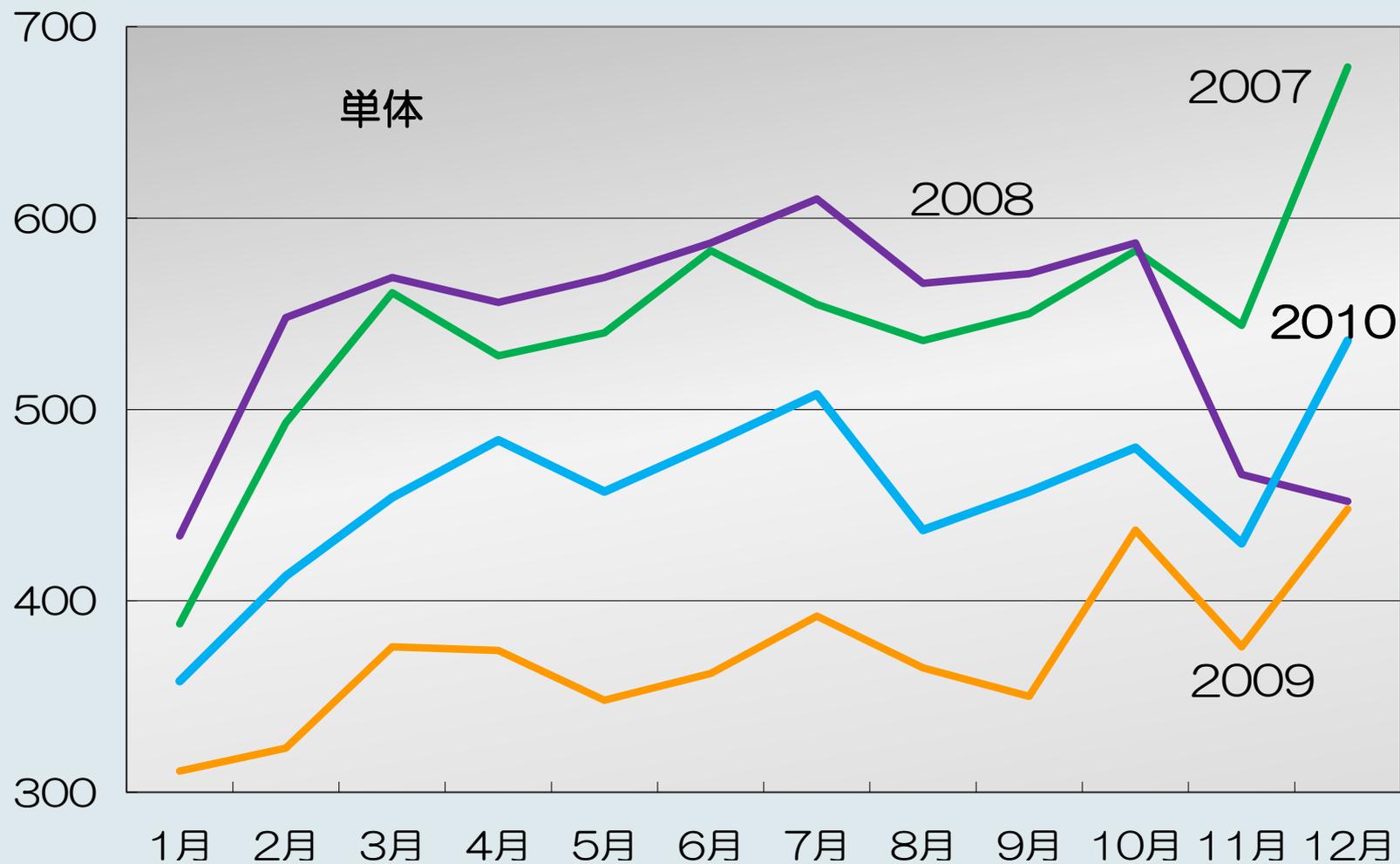


### (参考3) 単体業績と利益増加要因

対前年/ 単位：百万円	2009	2010	差異	主な差異要因	影響額
売上高	<b>7,054</b>	<b>9,137</b>	<b>2,083</b>	【輸出】30.9%増 【輸入】24.8%増	<b>1,678</b> <b>405</b>
売上原価	<b>4,689</b>	<b>6,445</b>	<b>1,755</b>	販売数量増に伴うもの 仕入単価UPに伴うもの	<b>847</b> <b>908</b>
売上総利益	<b>2,364</b>	<b>2,691</b>	<b>327</b>	売上原価率UP 4.0ポイントにより圧迫	
販管費	<b>1,917</b>	<b>1,937</b>	<b>19</b>	人件費 経費 ・外注費 △8・減価償却費 16 ・支払手数料 13・旅費 7	△ <b>9</b> <b>28</b>
営業利益	<b>446</b>	<b>754</b>	<b>308</b>		
経常利益	<b>620</b>	<b>781</b>	<b>161</b>	保険解約返戻金の減少 支払手数料の増加	△ <b>120</b> △ <b>23</b>
当期純利益	<b>222</b>	<b>470</b>	<b>248</b>	売却損・評価損等の減 法人税等の増	<b>175</b> △ <b>80</b>

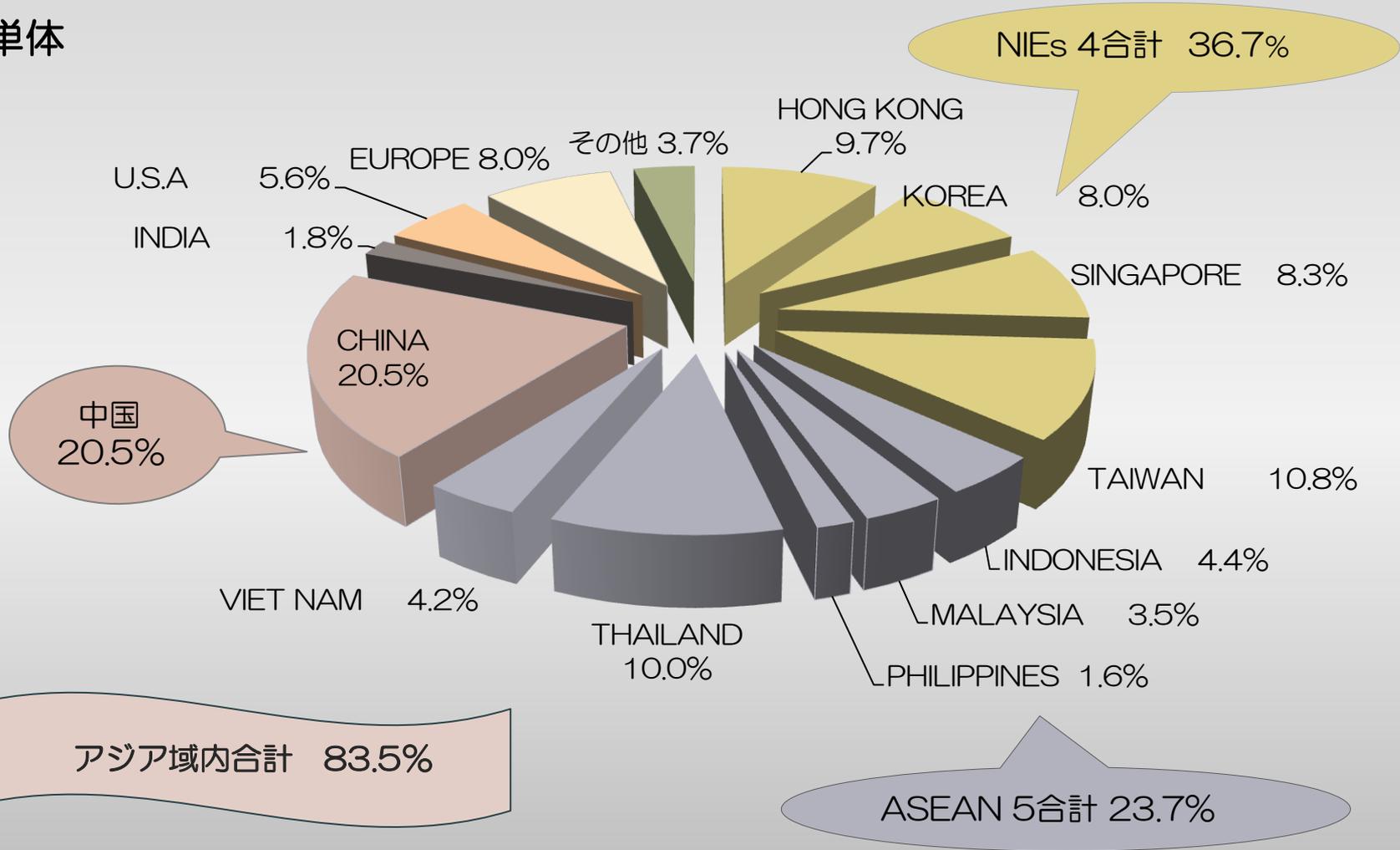
# (参考4) 最近4年間の輸出混載売上実績推移

百万円



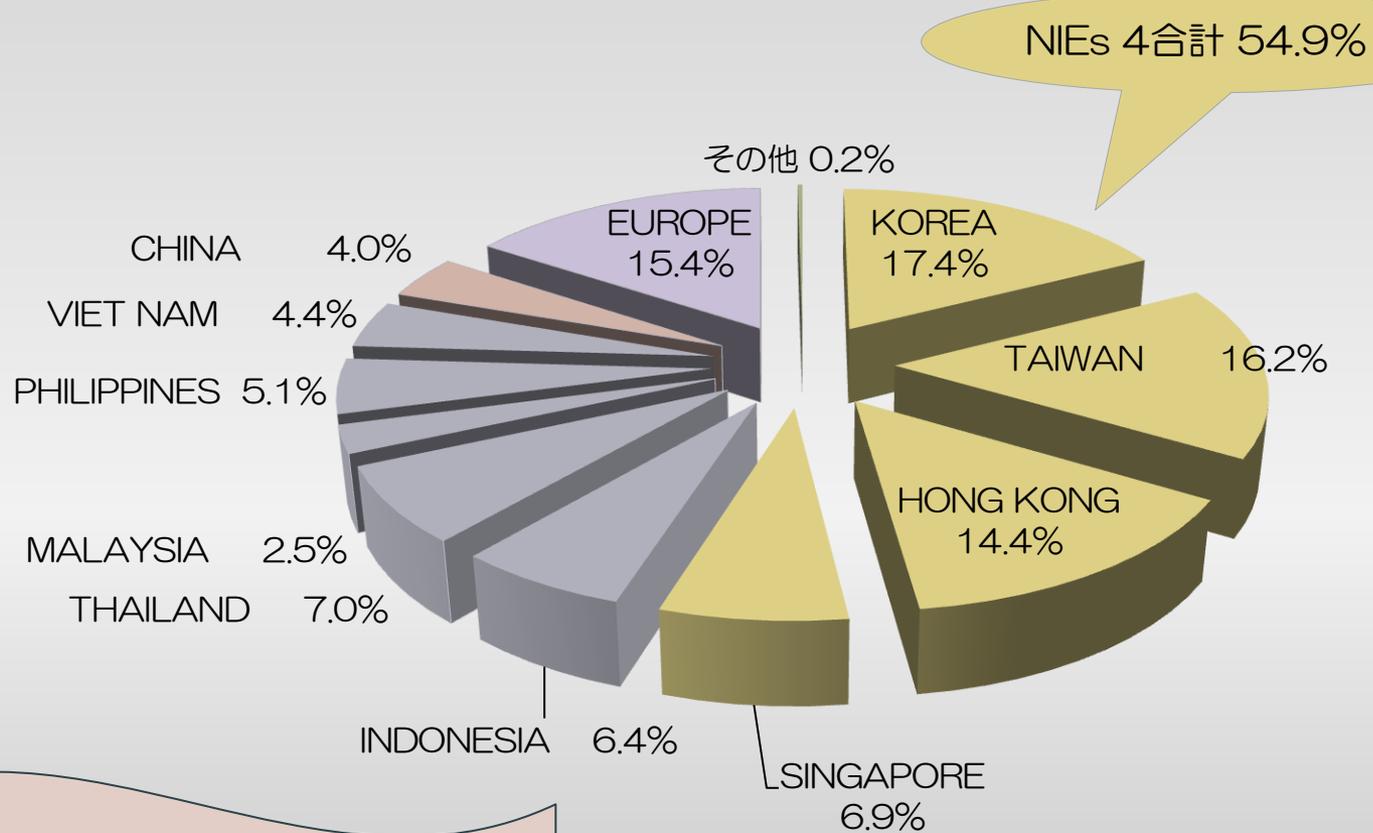
# (参考5) 当社輸出混載の仕向地別内訳

単体



# (参考6) 当社輸入混載の積地別内訳

単体



アジア域内 合計 84.4%

ヨーロッパ域内 合計 15.4%

第二部 2011年12月期  
事業計画

## 2-1 基本方針（1）

- ① 中計初年度のStartを確実なものに
  - ・ 売上高、利益とも '08年実績を超え、連結売上高134億円、営業利益12億円をめざす。
- ② 総合フォーディング事業の推進
  - ・ 国内輸送、倉庫、通関、空運の育成  
3PL事業の研究とトライアル
- ③ 首都圏の強化
  - ・ 引き続き数量、売上高を拡大し、首都圏売上割合48%をめざす。
- ④ 輸入営業の拡大
  - ・ ドアデリまでの一貫体制構築等で輸入売上割合を22%以上に引き上げる。

## 2-1 基本方針（2）

### ⑤ 海外戦略

- ・グローバルネットワーク戦略に基づき、新規拠点の開拓、支店網の拡充を行う。
- ・管理部門を充実し、現法各社の経営基盤を強固なものとする。

### ⑥ 組織・体制の強化

- ・営業統括機能の東京シフトと営業体制の再構築
- ・経営管理組織を再編しグループ経営管理を強化

### ⑦ 人材育成計画の実施

- ・長期ビジョンに立った採用と育成計画
- ・海外要員の育成

## 2-2 予算策定への環境認識

### プラス要因

- \* 中国の内需拡大の持続
- \* 新興国、資源国向け輸出の堅調持続
- \* 新規拠点効果による売上増
  - ・ Cargo One社、LPI社によるシナジー効果
  - ・ 華南ルート確立による効果
- \* フォワーディング事業による底上げ

### マイナス要因

- \* アジア景気の停滞感
- \* 欧米景気の失速
- \* 円高・ドル安
- \* 輸出の減少と輸出企業業績の低迷
- \* 競争の激化と売上単価の低下
- \* 消費者マインドの低迷

## 2-3 連結 売上及び利益

単位:百万円	2008 実績	2009 実績	2010 実績	2011 計画	対10比 (%)	対08比 (%)
売上高	<b>11,910</b>	<b>8,735</b>	<b>11,443</b>	<b>13,400</b>	117.1	112.5
売上総利益	<b>3,966</b>	<b>3,211</b>	<b>3,709</b>	<b>4,213</b>	113.6	106.2
営業利益	<b>1,101</b>	<b>635</b>	<b>1,031</b>	<b>1,210</b>	117.3	109.8
経常利益	<b>1,098</b>	<b>808</b>	<b>1,036</b>	<b>1,180</b>	113.9	107.4
当期純利益	<b>624</b>	<b>396</b>	<b>652</b>	<b>719</b>	110.2	115.2
売上総利益率	<b>33.3</b>	<b>36.8</b>	<b>32.4</b>	<b>31.4</b>	—	—
営業利益率	<b>9.2</b>	<b>7.3</b>	<b>9.0</b>	<b>9.0</b>	—	—
純利益率	<b>5.2</b>	<b>4.5</b>	<b>5.7</b>	<b>5.4</b>	—	—

## 2-4 単体 サービス別販売数量

単位：千RT・千TEU

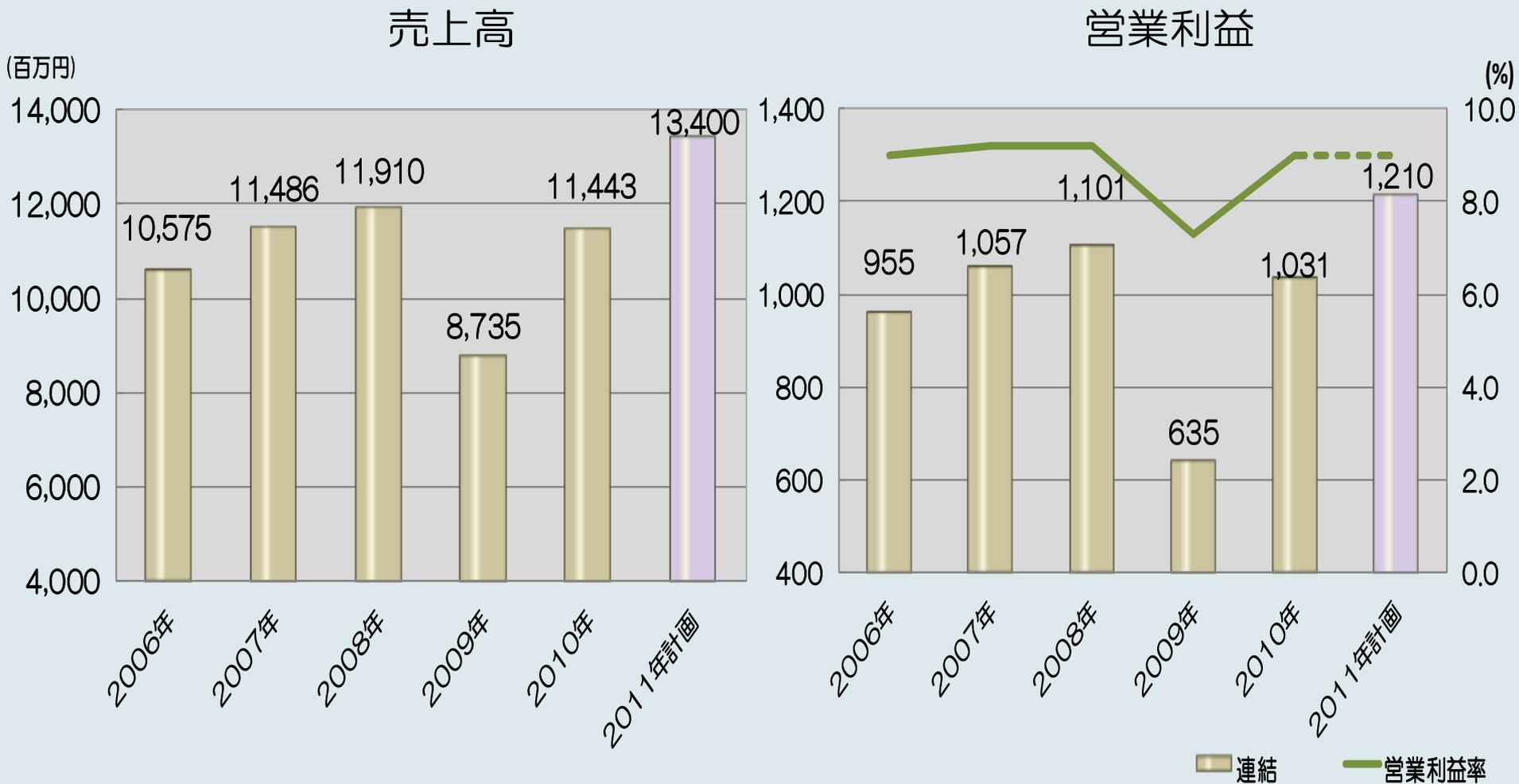
合計数量はTEU20t換算

	2008 実績	2009 実績	2010 実績	2011 計画	対 10年比 (%)	対 08年比 (%)
輸出混載	<b>615.0</b>	<b>476.1</b>	<b>547.8</b>	<b>615.0</b>	112.3	100.0
輸出フルコンテナ	<b>19.4</b>	<b>14.2</b>	<b>17.7</b>	<b>20.8</b>	117.5	107.2
輸出計	<b>1,003.8</b>	<b>760.7</b>	<b>901.2</b>	<b>1,030.9</b>	114.4	102.7
輸入混載	<b>246.2</b>	<b>203.3</b>	<b>205.1</b>	<b>243.9</b>	118.9	99.1
輸入フルコンテナ	<b>10.1</b>	<b>8.5</b>	<b>11.7</b>	<b>13.6</b>	116.2	134.7
輸入計	<b>447.3</b>	<b>373.7</b>	<b>438.1</b>	<b>516.2</b>	117.8	115.4
輸出・輸入 合計	<b>1,451.1</b>	<b>1,134.4</b>	<b>1,339.4</b>	<b>1,547.1</b>	115.5	106.6

## 2-5 単体 サービス別売上高

単位：百万円	2008 実績	2009 実績	2010 実績	2011 計画	対10年 比 (%)	対08年 比 (%)
輸出混載	<b>6,599</b>	<b>4,519</b>	<b>5,677</b>	<b>6,148</b>	108.3	93.2
輸出プロジェクト	<b>1,731</b>	<b>903</b>	<b>1,423</b>	<b>1,565</b>	110.0	90.4
プロジェクト	—	—	—	<b>300</b>	—	—
輸出計	<b>8,330</b>	<b>5,422</b>	<b>7,100</b>	<b>8,013</b>	112.9	96.2
輸入混載	<b>1,563</b>	<b>1,359</b>	<b>1,559</b>	<b>1,684</b>	108.0	107.7
輸入プロジェクト	<b>275</b>	<b>273</b>	<b>478</b>	<b>628</b>	131.4	228.4
輸入計	<b>1,837</b>	<b>1,632</b>	<b>2,037</b>	<b>2,312</b>	113.5	125.9
輸出・輸入 合計	<b>10,167</b>	<b>7,054</b>	<b>9,137</b>	<b>10,324</b>	113.0	101.5

## 2-6 連結業績の推移



## 2-7 単体業績の推移



## 2-8 当社が目標とする指標（KPI）

	連結	単体
1. 売上高営業利益率	9.0 %	8.0 %
2. R O E (自己資本利益率)	14.2 %	12.3 %
3. 売上高伸長率	17.1 %	13.0 %

## (参考) 予算策定の前提条件

### ① 経済環境

#### ▶ 国内景気の見通し

- ・ 10年上期の順調な回復ぶりから一転、景気の回復は鈍化、停滞の見込。円高持続に伴い、輸出の不振、企業業績の低迷、消費の停滞と不安材料多い。

#### ▶ 海外の景気見通し

- ・ 中国は、テンポは緩やかになるが、引き続き内需は堅調に拡大し世界景気の牽引役を担う。
- ・ ASEAN・インド等のアジア諸国も増勢は鈍化するが内需は拡大し、景気は堅調に推移する見込。
- ・ 米国は、雇用情勢などが不安要素となり減速傾向が明確化、低成長となる公算大。

(参考) 予算策定の前提条件  
② 世界経済の見通し

GDP成長率 %	2010年	2011年	2012年
米国	<b>2.7</b>	<b>2.2</b>	<b>3.1</b>
ユーロ圏	<b>1.7</b>	<b>1.7</b>	<b>2.0</b>
中国	<b>10.5</b>	<b>9.7</b>	<b>9.7</b>
インド	<b>9.1</b>	<b>8.2</b>	<b>8.5</b>
ASEAN5	<b>6.6</b>	<b>5.4</b>	—
日本	<b>3.7</b>	<b>1.7</b>	<b>1.3</b>

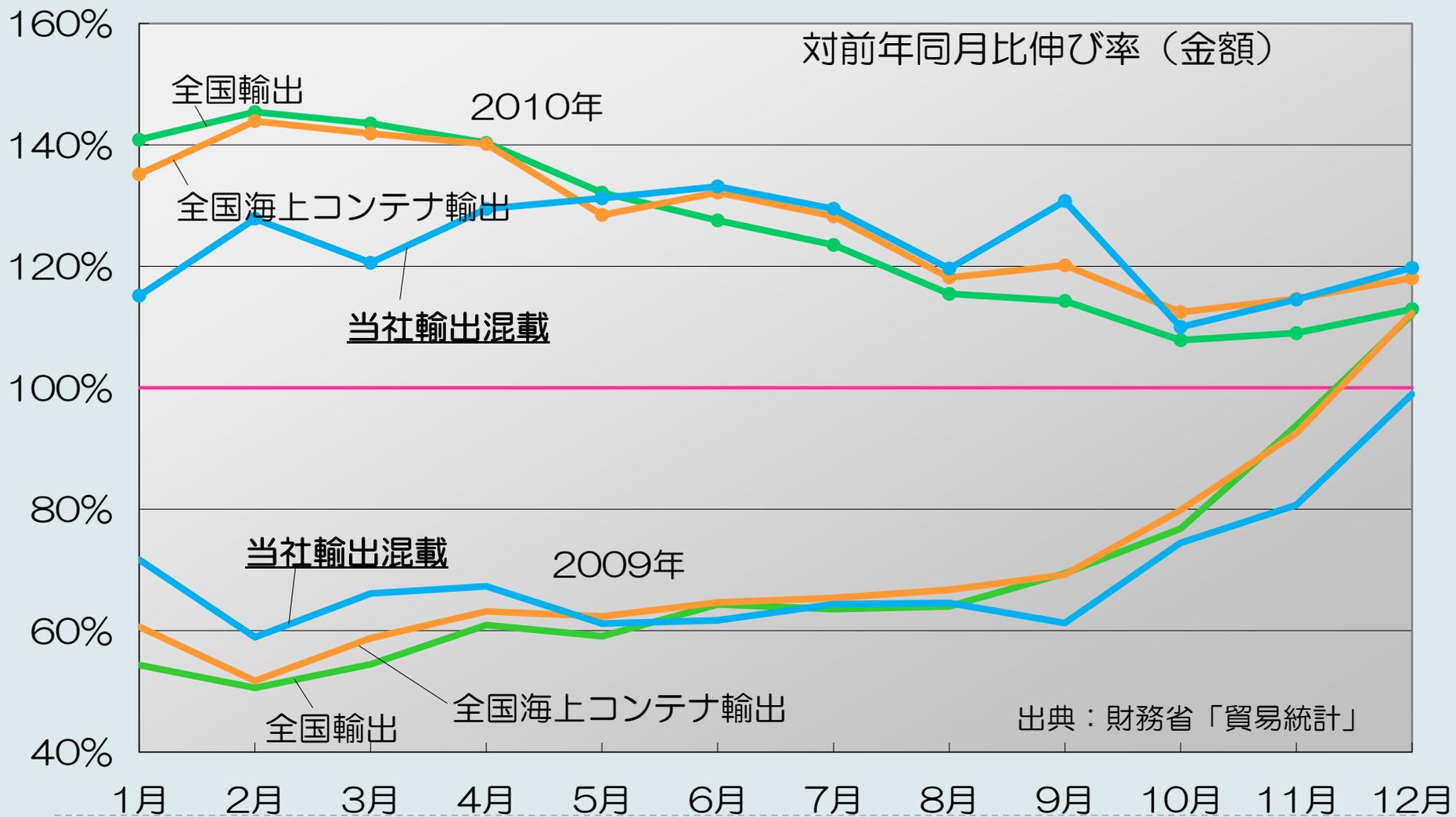
出典：OECDエコノミックアウトルック、ASEAN5についてはIMFエコノミックアウトルック

為替レート

予算策定レート＝82円

	2010年	2011年 1Q	2011年 2Q	2011年 3Q	2011年 4Q
日本総研	<b>87</b>	<b>85</b>	<b>86</b>	<b>87</b>	<b>88</b>
みずほ総研	<b>87</b>	<b>86</b>	<b>87</b>	<b>88</b>	<b>90</b>

(参考) 予算策定の前提条件  
 ③ 輸出の月次推移状況



(参考) 予算策定の前提条件

④ 外貿コンテナ貨物輸送の現状と見通し

単位： 千TEU	2009年度	2010年度		2010年度	2011年度		2011年度
		上期	下期		上期	下期	
		合計	<b>11,071</b>		<b>6,186</b>	<b>5,915</b>	
	△ <b>4.8</b>	<b>16.3</b>	<b>2.8</b>	<b>9.3</b>	<b>1.6</b>	<b>4.3</b>	<b>2.9</b>
輸出	<b>4,852</b>	<b>2,662</b>	<b>2,628</b>	<b>5,290</b>	<b>2,728</b>	<b>2,739</b>	<b>5,467</b>
	△ <b>4.3</b>	<b>16.4</b>	<b>2.4</b>	<b>9</b>	<b>2.5</b>	<b>4.2</b>	<b>3.4</b>
輸入	<b>6,219</b>	<b>3,525</b>	<b>3,287</b>	<b>6,812</b>	<b>3,555</b>	<b>3,430</b>	<b>6,985</b>
	△ <b>5.3</b>	<b>16.2</b>	<b>3.2</b>	<b>9.5</b>	<b>0.9</b>	<b>4.4</b>	<b>2.5</b>

\* 下段は対前年同期比増減率

出典：日通総合研究所「2010・2011年度の経済・貨物輸送の見通し」2010年10月

## 4. 配当方針

### 一株当たり配当の推移

2011年見込

25円

+

25円

2007年

20円

2008年

40円

2009年

40円

2010年

20円

20円

10円

中間配当

期末配当

30周年  
記念配当

ROEの推移

17.0%

17.2%

9.9%

14.7%

## 用語解説

- **NVOCC (Non-Vessel Operating Common Carrier)**  
船舶を所有せず、船会社のスペース(船腹)を借りて利用し、顧客の貨物を運送する海上輸送業者
- **混載輸送 (LCL)**  
海上コンテナに複数の顧客の輸出貨物を詰め合わせる混載輸送サービス
- **フルコンテナ輸送 (FCL)**  
顧客の貨物をコンテナ単位で輸送するサービス
- **3PL**  
荷主企業の物流機能を一括請負し、最も効率的な物流戦略の立案や物流システム構築の提案を行い、かつ、物流オペレーションを行うアウトソーシングサービス

2011～2013  
内外トランスライングループ

# 中期経営計画



2011年2月25日  
内外トランスライン株式会社

# 経営理念・企業ビジョン

## 経営理念

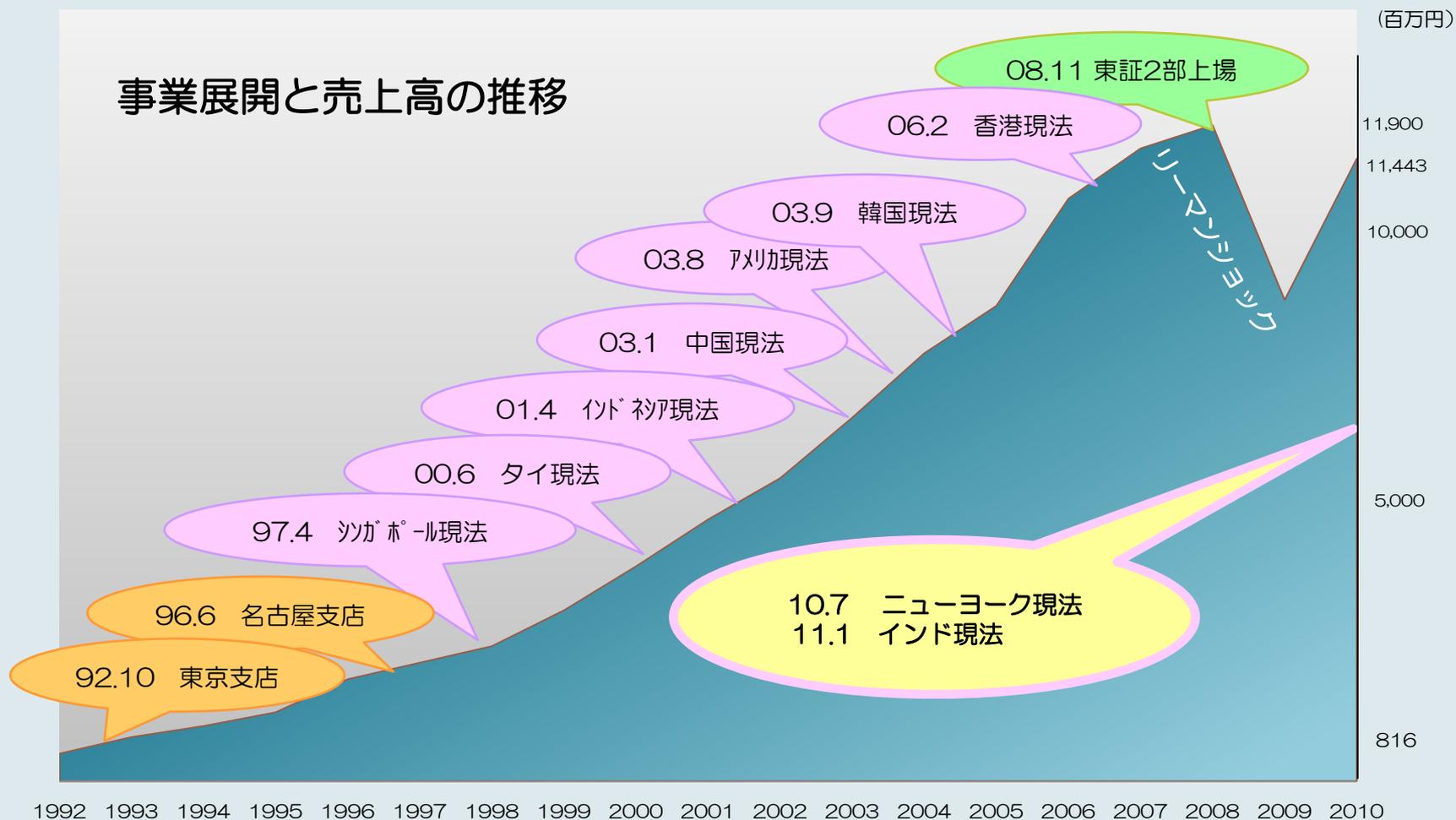
私たちは国際貨物輸送事業において、相互扶助の精神とお客さま第一主義を貫き、より質の高いサービスを提供し、安全、確実な輸送を世界に提供してゆきます。

## 企業ビジョン

- ・ ベストな物流商品とサービスを提供し、心のこもったコミュニケーションを大切にする企業
- ・ 健全な組織と高い生産性を持ち、成長を続ける企業
- ・ 働く者すべてが互いに高め合い、生き生きと仕事をし、未来の更なる豊かさを追求する企業

# 当社成長の歩み

## 事業展開と売上高の推移



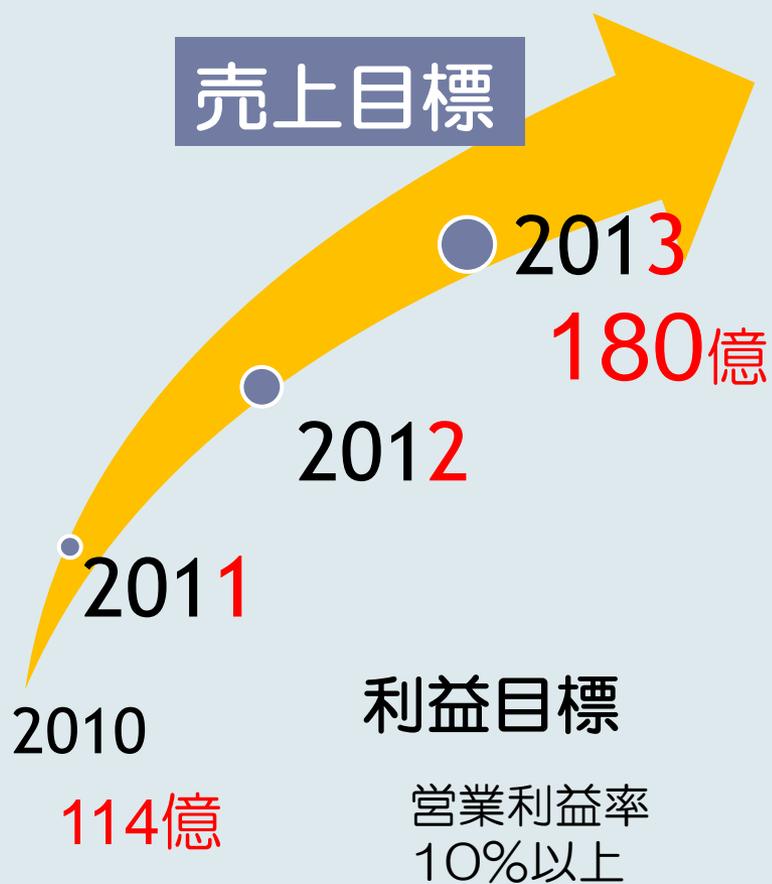


# 中期経営計画

## I. 基本方針

私たちがめざす3年後の“内外トランスライングループ”

# 中期経営計画【基本方針】サマリー



輸出混載を  
基軸に

売上構成  
の質的変革

グローバル  
ネットワークの完成

人材への  
投資と育成

国際総合フレート  
フォワードへ

# I. 中期経営計画の基本方針

私たちがめざす3年後の“内外トランスライングループ”

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 売上高 <b>180億円以上</b> を実現している <ul style="list-style-type: none"><li>・さらに2015年には <b>250億円</b>を視野に</li><li>・営業利益率は10%以上を目標</li></ul> |
|---|---|

成長エンジンは

NVOCC事業の成長

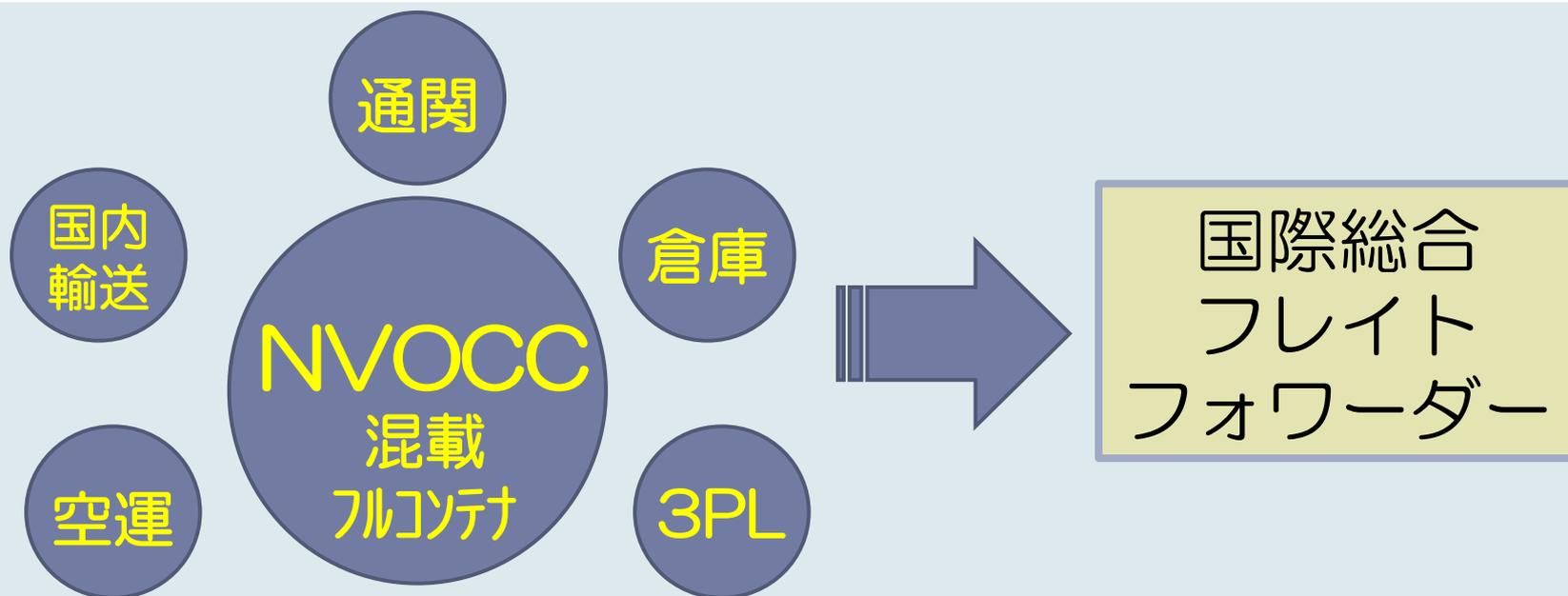


新規事業 (M&A)

# I. 中期経営計画の基本方針

私たちがめざす3年後の“内外トランスライングループ”

- 2 輸出混載サービスを基軸としながら、さらに幅広いフォワーディングサービスを展開し、**国際総合フレイトフォワード**となっている。



# I. 中期経営計画の基本方針

私たちがめざす3年後の“内外トランスライングループ”

- 3 経済環境の変動に弾力的に対応するため、新規事業の育成をはかり**売上構成の質的変革**をはたす。

## 新規事業の育成

- ・ 国内輸送、倉庫、通関、空運
- ・ フォワーディング
- ・ 3PL

## 売上構成の質的変革

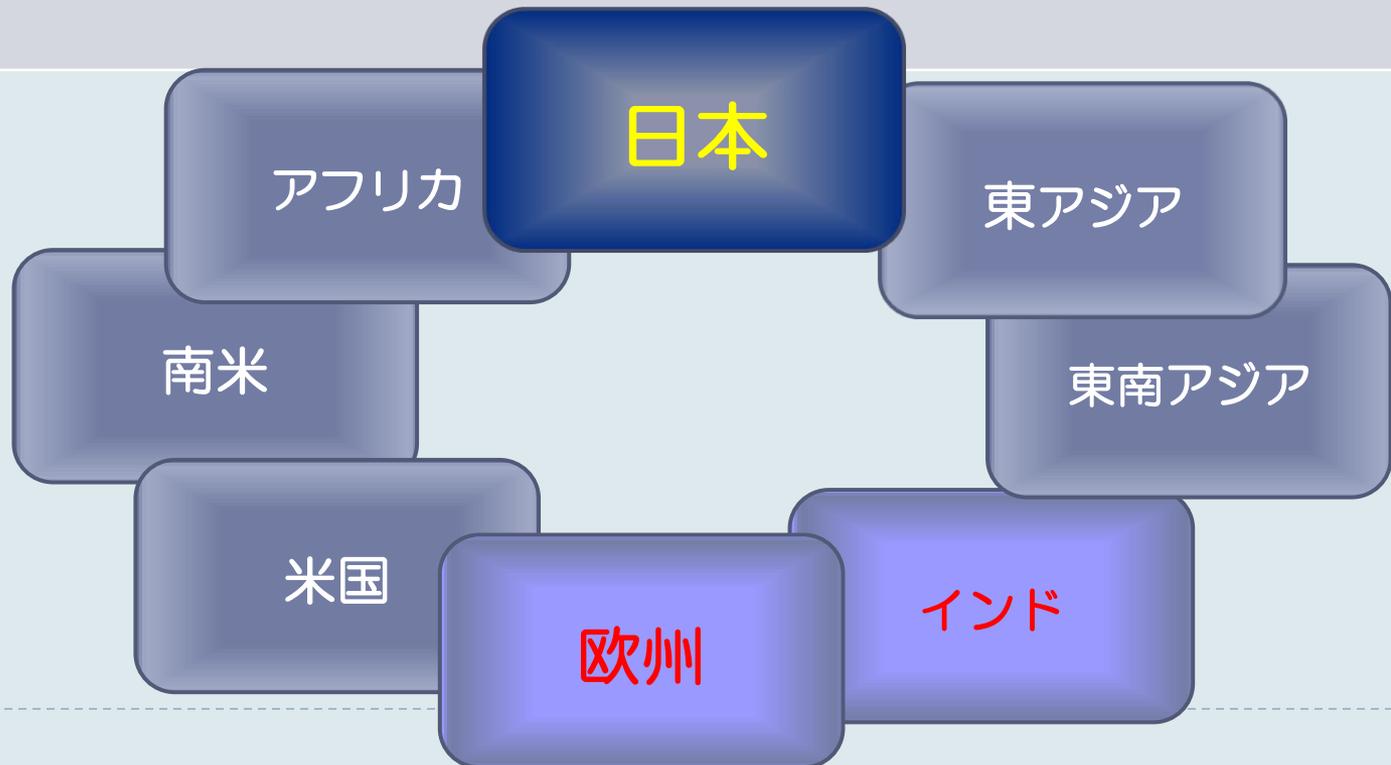
- ・ 首都圏売上比
- ・ 輸出：輸入比
- ・ 混載：フルコンテナ比

経済環境変化に対応

# I. 中期経営計画の基本方針

私たちがめざす3年後の“内外トランスライングループ”

- 4 海外拠点を拡大し展開し、インド、欧州に新拠点を築き、点から線へとつながった**グローバルネットワークの完成**をめざす。



# I. 中期経営計画の基本方針

私たちがめざす3年後の“内外トランスライングループ”

5 人材への投資を積極的に行い、中長期的なビジョンに立って、計画的な人材の育成をはかり、海外をも含めた適材配置を実施する。

◆ 人材の増強、育成、適材配置の徹底実施

◆ 海外適性要員を育成し海外拠点へ投入

◆ 新人事制度の実施と整備、拡充



# 中期経営計画

## Ⅱ. 戦略骨子

達成へのシナリオ

## Ⅱ. 戦略骨子

### 達成へのシナリオ

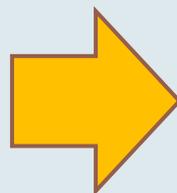
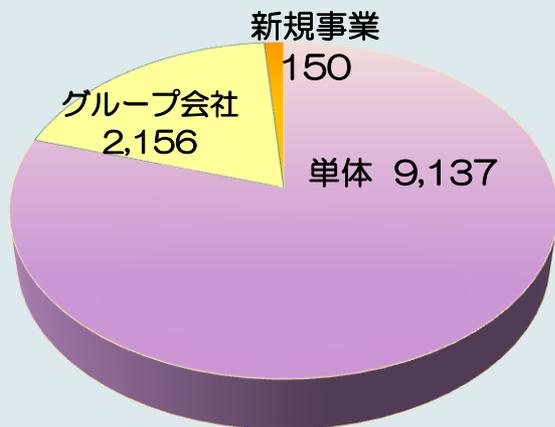
	めざす姿	達成シナリオ	成長額
1	連結売上高 <b>180億円以上</b> を実現している	<b>【親会社】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・首都圏シェア拡大による成長</li><li>・輸入強化による底上げ</li></ul> <b>【グループ会社（相殺後）】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・経営基盤強化、支店網拡充</li></ul> <b>【新規事業・M&amp;A】</b>	<b>20億</b> <b>20億</b> <b>10億</b> <b>15億</b> <hr/> <b>合計 65億</b>

2010年比65億円増

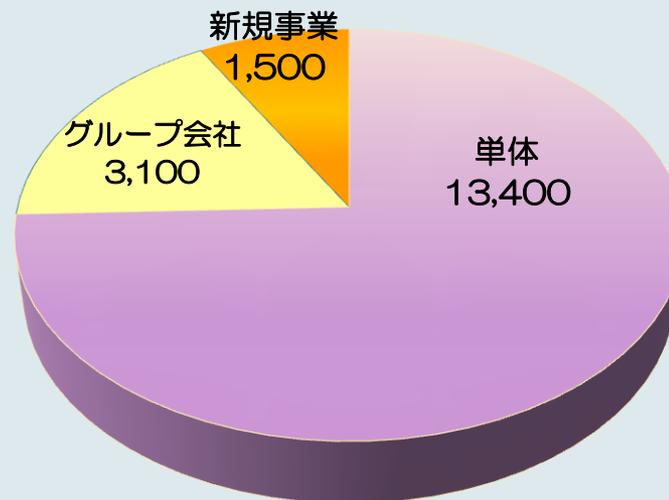
# ◆ 3年後 売上高 180億円のイメージ

連結

2010実績

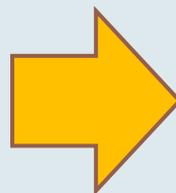
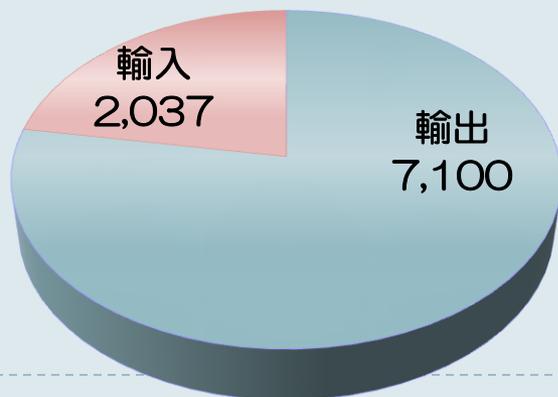


2013

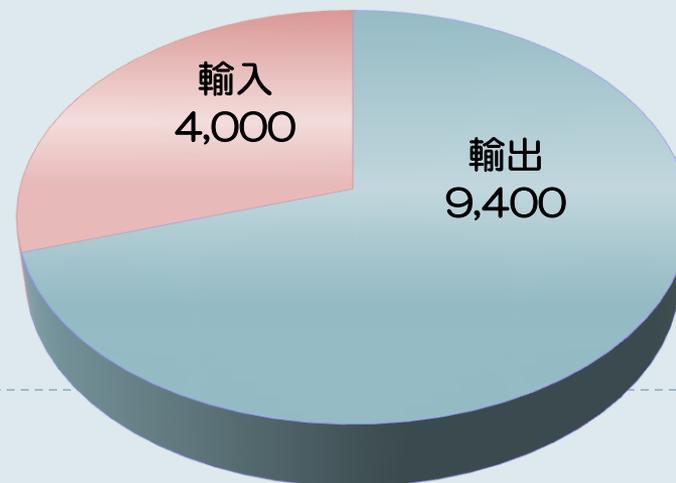


単体

2010実績



2013



## II. 戦略骨子

### 達成へのシナリオ

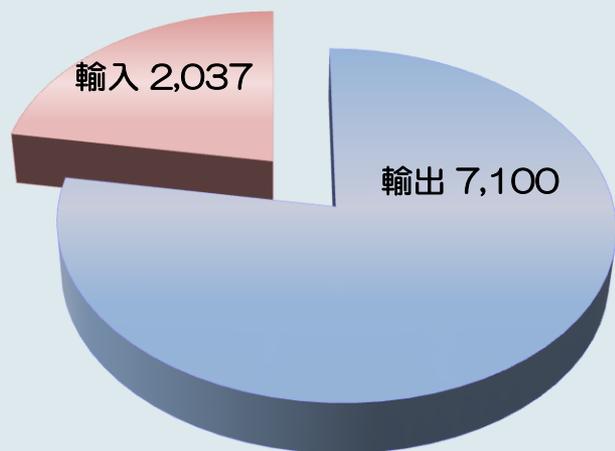
	めざす姿	達成シナリオ
2	国際総合フレイトフォワーダーとなっている	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国内輸送、倉庫、通関、空運等各社との業務提携と内製化（M&amp;A，資本提携）</li><li>・ フォワーディングビジネス部門の設置</li><li>・ 3PL事業着手と業務領域の拡大 物流オペレーション、通関、梱包、在庫管理、受発注管理、物流システム設計、物流IT運営etc</li></ul>

5年後には3PLが主要な事業の一つに育っている！

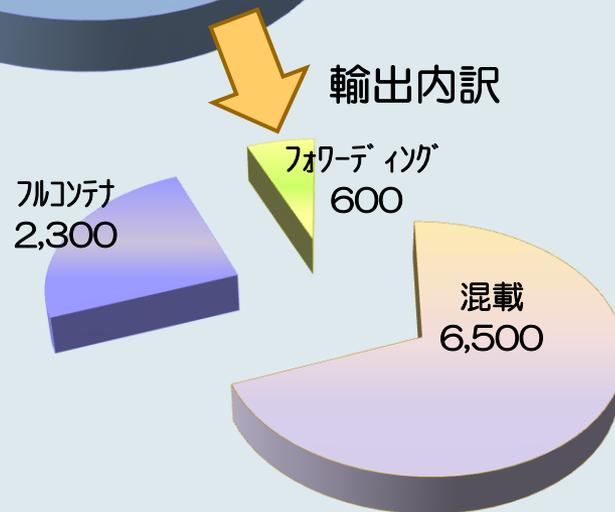
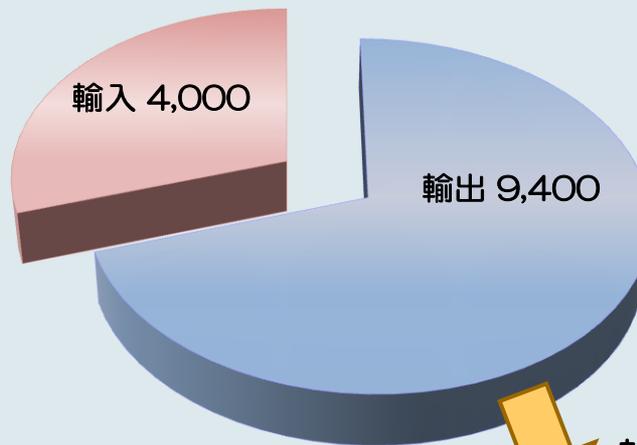


# ◆ 売上構成の質的変革

2010実績



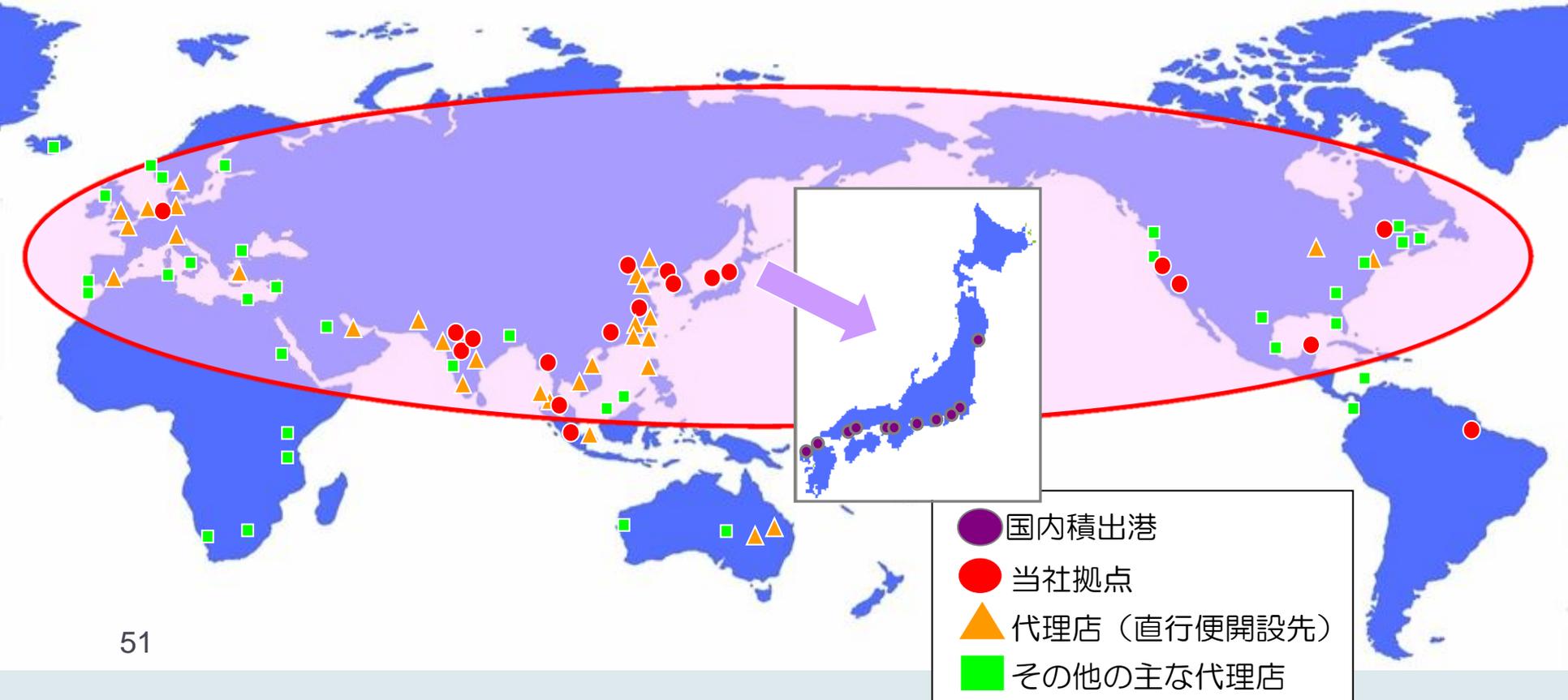
2013



## Ⅱ. 戦略骨子

### 達成へのシナリオ

	めざす姿	
4	グローバルネットワークの完成	今中計で私たちがめざすグローバルネットワーク図





# 中期経営計画

## Ⅲ. 定量目標

## Ⅲ. 中期経営計画

### 連結 売上及び利益

単位：百万円	2008 実績	2009 実績	2010 実績	2011	2013
売上高	<b>11,910</b>	<b>8,735</b>	<b>11,443</b>	<b>13,400</b>	<b>18,000</b>
売上総利益	<b>3,966</b>	<b>3,211</b>	<b>3,709</b>	<b>4,213</b>	<b>5,580</b>
営業利益	<b>1,101</b>	<b>635</b>	<b>1,031</b>	<b>1,210</b>	<b>1,800</b>
売上総利益率	<b>33.3</b>	<b>36.8</b>	<b>32.4</b>	<b>31.4</b>	<b>31.0</b>
営業利益率	<b>9.2</b>	<b>7.3</b>	<b>9.0</b>	<b>9.0</b>	<b>10.0</b>

### Ⅲ. 中期経営計画定量目標

#### 売上高

単位：百万円



	'08実績	'09実績	'10実績	2013
売上高/連結	11,910	8,735	11,443	18,000
売上高/単体	10,167	7,054	9,137	13,400

# Ⅲ. 中期経営計画定量目標

## 営業利益

単位：百万円



	'08実績	'09実績	'10実績	2013
営業利益/連結	1101	635	1031	1,800
営業利益/単体	831	446	754	1,200

ご清聴ありがとうございました



内外トランスライン株式会社  
NAIGAI TRANS LINES

取締役総務部長 三根 英樹

TEL 06-6260-4800

FAX 06-6260-4719

URL <http://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。